

第 4 回 黒磯地区交流拠点づくり構想策定検討委員会 議事要旨

■日時 平成 29 年 12 月 1 日（金）

■場所 岩国市役所 3 F 31、32 会議室

■協議事項

- (1) 基本理念に基づく事業の検討について
- (2) 施設整備計画について
- (3) 事業スケジュールについて

■主な意見要旨

—基本理念に基づく事業の検討について—

〈委員〉

- ・ 委員会資料の 1、2 ページの「(1) 基本理念を実現するための具体的取組」について、前回の委員会資料とは何が変更されているのか。

【事務局】

- ・ 前回の委員会では、基本理念に基づいて、どのような活動や取組が必要であるかを「イメージ」として抽出した。今回はそれらについて、庁内の関係課を交えて検証、精査を行い、実現化に向けた「具体的取組（活動）」として整理した。

〈委員〉

- ・ 委員会資料の 1 ページの「1-④ 障害者（児）支援の場」について、障害者サービスへ展開するイメージはあるのか。
- ・ 同部分の権利擁護制度に関する項目について、障害者に限られた制度ではないため、障害者に特化している表現に違和感がある。

【事務局】

- ・ 障害者サービスへと展開するイメージについては、障害者（児）に対する総合的な相談機関としての役割を想定している。
- ・ 権利擁護制度については、ご指摘のとおり、障害者の方に限られた制度ではないため、そのような誤解を招くことのないよう再度調整を図りたい。

〈委員〉

- ・ 愛宕山地区にも交流を目的とした同様の施設があるが、黒磯地区との差別化については、どう考えているのか。

【事務局】

- ・ 差別化を図るという考え方はしていないが、愛宕山地区については、日米の交流拠点としての役割のほか、主に医療防災交流拠点としてのまちづくりを展開しており、黒磯地区では、福祉を通じてどのような交流が展開できるかを中心に検討を行っている。

## —施設整備計画について—

〈委員〉

- ・ 前回の委員会では、敷地の段差について検討するよう意見があったが、「施設配置におけるポイント」で上手くまとめられている印象を受けた。

【事務局】

- ・ 敷地の段差については、課題というマイナス面だけでなく、景観という利点にもなり、そうしたプラス要素としても考えていきたい。

〈委員〉

- ・ 施設整備計画を考える上で、進入路についても一体的なものとして検討する必要があるのではないかと。

〈委員〉

- ・ 今後、高齢者が増える状況にあり、これから整備される施設に、およそ70歳代以降の方が「介護予防」を目的として通われることが望ましい。
- ・ 高齢者等が施設を利用する上で特に問題となるのは、交通手段である。今後、市民に説明をするうえで、交通手段についても併せて検討する必要があると思われる。

【事務局】

- ・ 交通については、物理的なハード面の課題もあるが、路線バスなどのソフト的なものもある。それらを総合的に検討していかなければならない。

## —事業スケジュールについて—

〈委員〉

- ・ 整備スケジュール（案）では、平成37年度に完成ということであり、財政面が年々厳しくなっている状況や、市民ニーズなどから、今後様々な意見が寄せられる可能性があるが、計画やアイデアの基本的方針がぶれないようにお願いしたい。

【事務局】

- ・ 完成時期については、一度に全ての施設の完成を目指すのではなく、完成した施設を順次供用開始していくことを想定している。ただし、財政的な問題もあるので、完成時期はあくまでも目標として認識して頂きたい。
- ・ 整備工事費についても、敷地一面を平らに造成するとなれば多大な工事費を要することとなる。そういった財源における問題のほか、公共施設の統合等の検討も市内部において行っている。公共施設においては、既存施設の老朽化等の問題もあることから、様々な課題を踏まえ施設整備について検討していく必要がある。

〈委員〉

- ・ 今後さらに高齢者の方が増えていくなかで、在宅での医療や介護が推進されており、誰もが地域で安心して暮らし続けるために、地域にホームドクターがいないことが課題である。厳しいとは思いますが、医療施設の誘致の課題が置き去りにならないようにしていただきたい。

**【事務局】**

- ・ 医療施設の誘致については重要な課題と考えている。黒磯地区でどのようなまちづくりを行っていくかが重要なポイントになると考えており、今後、施設配置や土地利用計画などが具体的に決定し公表される段階となれば、医療施設の事業展開についてもイメージし易くなると考えている。

以上